

春のお知らせ特集号

Estuary 039

～いしかり砂丘の風資料館だより～

2010年の講座・展示

種類	タイトル	日程	対象
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の漂着物	4/18 (日)	小4以上 ※終了
野外講座	地層と化石／フィールド編	6/19 (土)	小4以上
体験講座	地層と化石／ラボ編	7/3 (土)	小4以上
オトナの 体験講座	化石複製計画	7/10 (土)	高校生以上
体験講座	勾玉作り教室 (ボランティア主催)	7/31 (土)	小1以上
体験講座	土器作り教室 ①製作 ②野焼き	7月下旬～8月	小3以上
体験講座	化石のレプリカをつくる	8/14 (土)	小4以上
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる	9/4 (土)	小4以上
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の漂着物	10月下旬	小4以上
連続講座	石狩大学博物館部 (全3回?)	11月頃	高校生以上
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の漂着物	2月下旬	小4以上
テーマ展	コシャチホネ／発掘編	4/29～6/13	←開催中!
テーマ展	縄文土器の世界	6月下旬～7月	
テーマ展	昭和なおもちゃ	8月～9月上旬	
テーマ展	イシカリのかたち	9月下旬～10月	
テーマ展	資料館のお宝2011	12月～3月	

★講座に参加するには事前に申込が必要です。また、日程・内容などは変更になることがあります。

野外講座

地層と化石 フィールド編

6月
開催

800万年前の地層が見られる厚田の海岸。二枚貝や巻貝の化石もたくさん見られます。地層や化石、メノウなどを観察・採集します。

- 日時 6月19日 (土) 13:00～17:00
- 場所 石狩市厚田区の海岸
- 集合 石狩市役所 (バスを用意します)
- 対象 小4～大人 (小学生は保護者同伴で)
- 定員 20人 (先着順)
- 費用 無料
- 申込 6/2 (水) ～6/16 (水) の間に電話で。



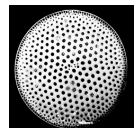
体験講座

地層と化石 ラボ編

7月
開催

地層や化石は大昔の地球環境を教えてくれるタイムカプセル。厚田で見られる800万年前の地層を使って実験します。地層の中のマイクロサイズの化石や火山灰を顕微鏡で見してみよう!

- 日時 7月3日 (土) 13:00～17:00
- 場所 砂丘の風資料館
- 対象 小4～大人
- 定員 10人 (先着順)
- 費用 無料
- 申込 6/2 (水) ～6/16 (水) の間に電話で。



「SALMON TIND」再考・定年の記

前号のコラム（エスチュアリNo.038）で寄贈された缶詰のラベルの表示が「SALMON TIND」となっていて意味が通じないという話を書いたら、芦別市の「星の降る里百年記念館」のHさんから次のような意見を頂きました。彼がいうのには、このスペルは正しくは「SALMON TINND」で、問題の「T」に見える字は「T」を見誤ったものではないかというものでした。その根拠に、英国英語で鮭缶は「TINNED SALMON」であり、語順は違うが英語の「鮭缶」と書きたかったのだらうというものでした。ちなみに米国英語では「鮭缶」は「CANNED SALMON」だということです。こういわれてみると、なるほどその可能性は高いと思われる、「SALMON TIND」はミスプリントと考えても良いようです。

ところでこのラベルの下辺に小さく「札幌北海石版印刷所」の名前があり、札幌で印刷されたことが分かります。さらに石版印刷とは大理石などを使った一種の版画のようなもので、明治時代に木版印刷に代わって流行した印刷法のことです。現代でもこの方法は「リトグラフ」と呼ばれ知られています。

スペルの問題は一応、ミスプリントということで決着がつけましたが、もう一つ疑問がわきました。それはこの缶詰の中身が「氷頭（ひず）」であることです。現在でも「氷頭」は酒肴の類で、珍味であり一般的な食材ではありません。当時、こんな部位にそんなに需要があったのでしょうか。明治30年代になると国内ではカニ、エ

ビ、ホッキ、竹の子、グリーンピースなど新種の缶詰ができます。しかし、「氷頭」はとても珍しい存在でありメジャーになったとは思えません。これは調べてみなければなりません、この缶詰も新作で試売のため製作されたのではなかったかと思っています。また水煮か味付けかなど、どのような加工がされていたかも調べる必要があるでしょう。

話は変わりますが、実は私は3月31日をもって定年となりましたので、そのことを報告いたします。昭和49年12月、石狩町時代に役場に採用、すぐに教育委員会社会教育係で文化財担当となりました。採用となる以前、臨時職員で石狩川右岸堤防によって影響を受ける八幡町遺跡の調査に従事していました。石狩市での発掘調査は、この発掘を皮切りに10遺跡を調査し、10冊の報告書を書きました。今でこそ砂丘での調査に慣れましたが、最初は地層がなかなか見えずに往生したことを思い出します。最も印象に残っている調査は、やはり1995年から調査した「石狩紅葉山49号遺跡」です。砂丘と低湿地の両方を同時に調査し、なおかつ縄文時代の鮭漁場を発見したことは強い印象となっています。こうして調査に明け暮れた30数年はあっという間に過ぎましたが、まだ定年の実感は湧きません。幸いなことに、砂丘の風資料館でもう少し仕事ができることになりましたので、これまでの仕事の整理と、少し新しい研究も手がけたいと思っています。

（石橋孝夫 いしばしたかお）

テーマ展 コシャチホネ 発掘編



開催中!

今年3月、埋めていたシャチ幼獣（体長2.7m）の骨を掘り起こしました。なぜ埋めていたの？ どんなふうに関掘したの？ まずは、掘り出したばかりの姿（未処理）を見てください。発掘のようすや、骨標本の作り方もパネルで紹介！

- 期間 4月29日～6月13日
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- ※資料館の入館料が必要です。

エスチュアリ No.39

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分
休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入館料 300円（中学生以下は無料）、団体料金240円（15名以上）
交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、「石狩温泉」下車、徒歩1分（石狩温泉「番屋の宿」向かい）

2010年5月1日発行

いしかり砂丘の風資料館
 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
 TEL/FAX: 0133-62-3711
 bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>